

石炭火力融資に抗議

インドネシア住民が来日

岩淵・武田

議員が同席

財務省が所管する国際協力銀行（JBI）がインドネシア・チレボン石炭火力発電所の拡張計画への融資を決定したことを受

け、計画に反対する現地住民の代表が24日、国会内でJBIに異議申立書を手渡ししました。日本共産党の岩淵友、武田良介両参院議員が同席しました。住民代表は22日に来日。2012年に稼働

した1号機のばいじんによる農漁業被害や健康被害、拡張計画にかわり人権侵害も起きているとし、拡張計画は被害を拡大すると訴えています。

拡張計画には丸紅やJERA（東京電力と中部電力の出資企業）が参加し、JBIのほか日本の民間銀行団も融資を検討していま

す。現地地裁は4月19日に住民の環境認可取り消しの訴えを認める判決をだしましたが、JBIは判決前日に駆け込み的に融資を決めました。

岩淵議員は、日本共産党の大門実紀史参院議員の4月13日の国会質疑に対し、JBIの近藤章総裁が「判決が出れば精査し対応す

る」と答えていたことをあげ、「国会軽視という点でも問題だ」と批判。武田議員も「現地の声を受けとめるべ

きだ」と主張しました。JBIは「申し立ての中身を精査したい」と述べるにとどま

2017. 5. 25

赤 旗